

ヤングアダルト
YAコーナー充実中!!



YA (ヤング・アダルト) コーナーには、小説やライトノベルはもちろんのこと、気軽におもしろく学べる本、これからの進路について考える本などが揃っています。
本館2階・東松戸地域館・小金分館にあります。
ぜひ立ち寄ってみてください♪

本館2階・東松戸地域館では特集展示を実施しています!
Animageなどの雑誌もあるよ。

本館
TEL 365-5115
松戸 2060
交通/JR松戸駅下車徒歩約7分

図書館本館
子ども読書推進センター

東松戸地域館
TEL 703-0615
東松戸 2-14-1 ひがまつテラス内
交通/JR東松戸駅下車徒歩約4分

東松戸駅
京成高砂
新鎌ヶ谷
ベルクス
保育園
西口
松戸駅
ひがまつテラス

小金分館
TEL 343-8658
小金きよしヶ丘 3-1-1
市民センター内
交通/JR北小金駅下車徒歩約12分

北小金駅
JR常磐線
交番
根木内交差点
小金市民センター
松戸
小金小
国道6号

インターネットから本を検索・予約できます
<https://www.library-matsudo.jp/opac/wopc/pc/pages/TopPage.jsp> (PC)
<https://www.library-matsudo.jp/opac/sp> (スマホ)



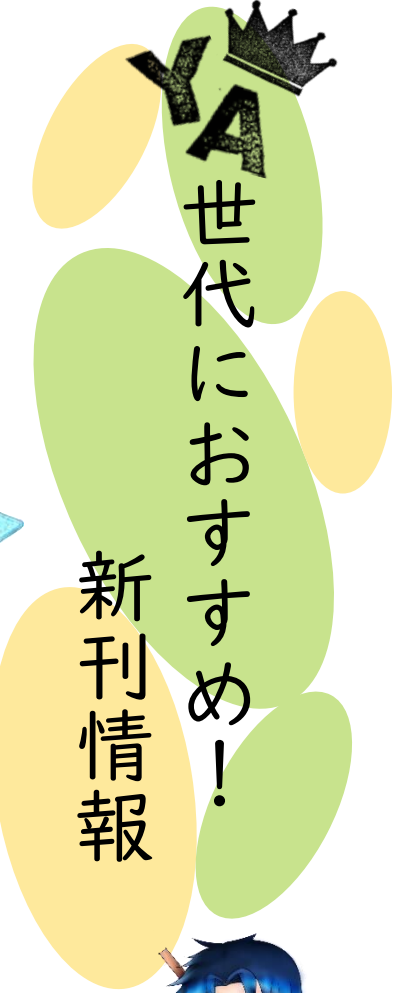
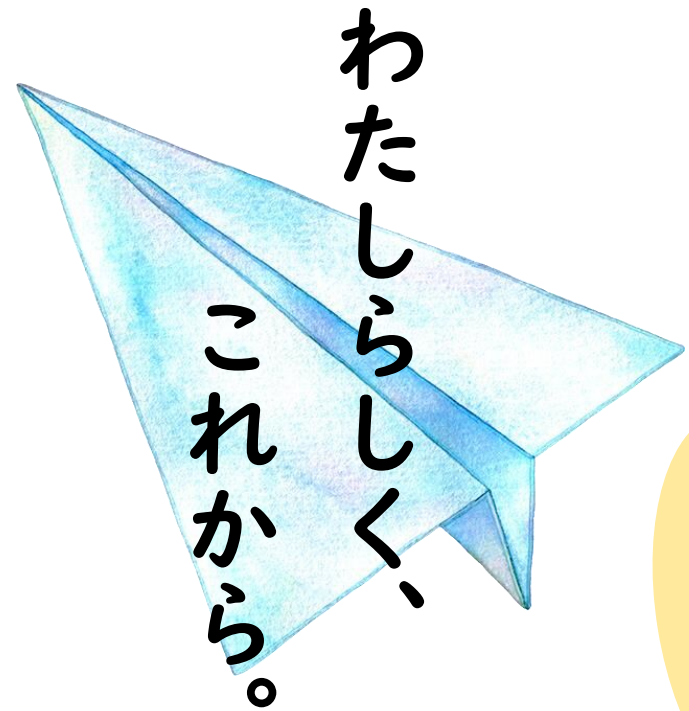
YA紹介ページ



図書館利用案内

わかば通信

YA (「ヤング・アダルト」の略称で中高生のみんなのこと。) 向けに おすすめの本を紹介します。



松戸市立図書館
日本十進分類法
オリジナルキャラクター
9類 セプト



令和8年7月発行
松戸市立図書館 ☎047-365-5115
<http://www.city.matsudo.chiba.jp/library/>

YA世代におすすめ！新刊情報

『あの日のアオハルと、待ち合わせ』
(櫻いいよ／著 集英社 集英社オレンジ文庫)



高校二年の夏休み、駅で出会った三人とある場所に向かいます。なかなか自分の感情を出せない泪(るい)が三人と時間を過ごすうちに自分の意志で発する言葉が出てきます。心情の変化、気づきがあり一緒に旅をしているような感覚になります。

『みんなでつくる「読書バリアフリー」だれもが読める本のかたち』
(成松一郎／著 河出書房新社)



みんながスラスラ文章を読めるわけではない。目が見えない人以外にも、読書をする、文字を読むことが難しい人がいるんです。いろんな読書の楽しみ方を知ることによって世界が広がる人が増えていきます。まずは色んな「読む」を知ってみよう。

『僕たちの青春はちょっとだけ特別』
(雨井湖音／著 東京創元社 写真：mew 装幀：岡本歌織)



高等支援学校に進学したことで、架月は日常にも変化が訪れます。いろんな事件も同級生たちと一緒に解決しちゃうのです。先生たちの眼差しも温かく、素敵な学校を舞台にしたちょっとだけ特別な青春をお届けします。

『毎日つかえる子どもの権利』
(甲斐田万智子／著 アルパカ)



子どもの権利について考えたことはありますか。困ったことがあった時、どこに相談したらいいのか、一人では悩んでしまうこともあると思います。そういう時には、この本を開いて守られる権利があることを知って使うことができます。

『死って、なんだろう？ 子どもたちからの38の質問』
(エレン・ダシー、アンナ・ファン・カンタベッラ／作 創元社)



世界中から集めた「死」についての質問38個に、分かりやすく解説してくれます。「死」を考えるって怖いことかな、と思っていたけれど、「死」を考えることは「生きる」ことについて考えることだって気づきます。

『謎ルール』
(高部大問／著 内田樹／監修 時事通信出版局)



あなたはルールに対し「なぜ？」と疑問を持ったことはありますか？その疑問を誰かに投げかけたとき、どんな答えが返ってきたでしょう。身の回りに溢れている「謎ルール」のルーツをたどれば、その答えを見つけることが出来るかもしれません。



『にげてさがして』
(ヨシタケシンスケ／著 ポプラ社)

これからたくさんの人と出会う中で、自分とは違う考えを持つ人もたくさんいると思います。もし、ひどいことをされたら「にげて」もいと優しく背中を押してくれる作品です。今、つらくて動けなくなっている人に読んでもらいたいです。



『大学4年間に「応援」に捧げた私が古生物学者になった話』
(泉賢太郎／著 理論社)

がむしゃらに突き進む才能に富んだ著者だなぁ、と思うくらい、がむしゃら具合が面白可笑しくつつられています。「すごくない自分が、どうすれば古生物学者になれるのか」を戦略的に頑張った話は、読んでいてとても気持ちがいい！がむしゃらって、わるくないかも。



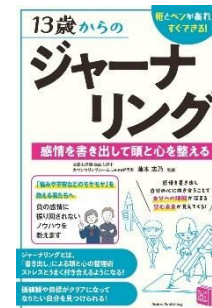
『僕の仕事はごみ清掃員。』
(滝沢秀一／著 河出書房新社)

私たちの活動の最後に必ず残るごみ。実は情報の宝庫なのです。ごみを見ればあなたの人間性や生活習慣、誰にも言っていない秘密までバレてしまうかも！？ごみの分別方法をイラストとともに学べる特別補習もあります。楽しくするための「ごみの特別授業」開講です。



『10代女子のためのおしごと図鑑 これからの時代を生きる進路の見つけ方、自分にピッタリのお仕事探し方ガイド』
(女子の進路相談室／著 メイツ出版)

この本は、各分野で働くお仕事について紹介しています。進路を決める時に、まずはどんな仕事があるのか知るきっかけになるとと思います。見開きで分かりやすいので気になるところから読んでみてください。



『13歳からのジャーナリング』
(藤本志乃／監修 メイツ出版)

自分の感情や考えを思いつくままに書き出すことで整理する「ジャーナリング」の技術を学ぶことが出来る一冊。さっそく紙とペンを手にジャーナリングを始めてみましょう。きっとストレスに振り回されず、より良い未来へ進むためのヒントが見つかるはず。